

平成30年度 委員会行政視察実施報告書

(視察箇所ごとに作成)

委員会名	広報広聴委員会
参加委員	半田大介 ○成瀬 拓 齊藤達也 中村悠基 林 和明 原 栄一 宮下省二 飯島伴典 金沢広美

委員長、 副委員長

1 上田市での課題と視察の目的

1. 議会広報紙について

議会の情報を発信する機関メディアである議会だよりを市民の皆様へ「手に取って見たくなる」「毎回楽しみにしている」と言ってもらえる紙面づくりが大きな課題となっている。静岡県磐田市では平成28年にリニューアルの取り組みを行った。これを視察し、市民の皆様へわかりやすく、読みたくなる議会だよりを目指している上田市議会としての参考としたい。

2. 議会インターネット中継について

インターネット技術が向上し、情報収集はスマートフォンなどを使用しインターネットで行っている市民が増加している中、市庁舎改修が行われる上田市としても議会のインターネット中継を考えるべき時期と思う。先進事例を参考にし、インターネット中継の実現に向けた取り組みの参考としたい。

2 実施概要

実施日時	視察先	静岡県磐田市
平成30年8月7日(火) 14時00分～15時30分	担当部局	磐田市議会 広報広聴委員会 議会事務局
視察事業名	議会広報紙、議会インターネット中継について	
報告内容	<p>1 視察先の概要</p> <p>静岡県西部に位置し、西に天竜川南は遠州灘に面し、奈良時代は遠江国の国府や国分寺が置かれ遠州地方の中心として栄えた。JR東海道本線や新幹線、東名高速道路などの交通網を有し、輸送機器や電子部品関連に代表される全国でも有数の製造業や、お茶や温室メロン、シラスなどの特色ある農水産業が盛ん。Jリーグジュビロ磐田やラグビートップリーグヤマハ発動機ジュビロのホームタウン。</p> <p>2 視察先の特徴</p> <p>平成28年に議会広報紙をリニューアルした。リニューアルにともない、内容にも市民へのインタビュー記事を載せるなど工夫をこらし、「市民が手に取って見たくなる広報紙」となるよう取り組んでいる。今回、このような磐田市の取り組みについて視察し、上田</p>	

	<p>市の議会だよりの改善に活かしていくために検証していく。</p> <p>3 視察事項について</p> <p>(1) 議会広報紙</p> <p>タイトルの公募を行い広報広聴委員会で審議し、「羅針盤」とした。</p> <p>リニューアルで二色刷りをフルカラー印刷に変更した。</p> <p>毎号、各常任委員会で市民の声を委員自身が取材を行い、特集を組んでいる。</p> <p>一般質問を行う議員数により増減はあるが、毎号 16～20 ページとなっている。費用はページ当たりの単価となっている。</p> <p>一般質問のページは、文字の大きさ、空間を考慮し見やすくなるようにということで、1行 13文字 50行とした。</p> <p>表紙写真は市民が身近に感じられるようなものを使用するようにしている。(参考にいただいた議会広報紙ではサッカー選手が子供たちにサッカーを教えている写真だった。)</p> <p>リニューアル後の市民の反応については、議会報告会に来た人にアンケートにより感想を取ったところ、52人中 40人が良くなったとの評価をもらった。</p> <p>(2) 議会インターネット中継</p> <p>本会議、全員協議会、予算決算委員会を生中継及び3日後に録画を委託でインターネット配信している。平成30年にはスマートフォンやタブレットでも見られるようにした。</p> <p>今後の課題はインターネット中継の周知を広げること。編集作業は業者が行い、事務局が確認し配信している。</p> <div data-bbox="667 1442 1155 1805" data-label="Image"> </div>
<p>考 察</p>	<p>・議会広報紙</p> <p>現在の市議会だよりと比較してみても、文字の多さや空間が少ないなどあらためて感じた。磐田市議会の議員が市民に取材を行い、特集を組むという特徴なども大変参考になった。市民が身近に感じられる議会だよりにするための参考としていきたいと思う。</p>

	<p>・ 議会インターネット中継</p> <p>上田市議会でも以前からインターネット中継については議論を重ねている。今回視察し、先進事例の効果や課題を踏まえて、市庁舎改修を機会に開かれた議会の取り組みを進めるべく、インターネット中継の実現に向け取り組んでいきたい。</p>
--	--

視察先の写真、資料等がある場合は添付のこと

平成30年度 委員会行政視察実施報告書

(視察箇所ごとに作成)

委員会名	広報広聴委員会
参加委員	半田大介 成瀬 拓 齊藤達也 中村悠基 林 和明 原 栄一 宮下省二 飯島伴典 金沢広美

委員長、副委員長

1 上田市での課題と視察の目的

上田市議会では情報公開、情報発信の取り組みについて進めているが、全国で導入が進んでいるインターネットによる映像配信はいまだ未着手である。先進地である犬山市議会での現状を視察する。

2 実施概要

実施日時	視察先	愛知県犬山市
平成30年8月8日(水) 13時30分～15時30分	担当部局	犬山市議会事務局
視察事業名	議会広報、広聴について	
報告内容	<p>1 視察先の概要 犬山市は人口74,308人、面積は74.90km²。地名の由来は大昔、犬を用いて狩りをするのに適切であった、小野山が転じたもの、大懸神社の戌亥の方向にあるためといった三つの説がある。</p> <p>2 視察先の特徴 愛知県北西端、名古屋市より北に25km、岐阜県に隣接している。天文6年犬山城が築城され城下町として発展し、現在も最古の天守を持つ国宝犬山城と往時の町割が残る。また木曾川や東部の丘陵地の一部は飛騨木曾川国定公園にも指定され、国の天然記念物であるヒトツバタゴ自生地があるほか、稀少動植物も生息し自然が残る。</p> <p>3 視察事項について ・情報発信について フェイスブックを活用し議会での公務や私達他自治体のような視察が来訪したといった内容について事細かに市民に向けて発信が行われていた。上田市でも今年度より同様の取り組みが行われているため引き続きSNSを活用した情報発信について務めていきたい。 またYouTubeを使用した議会中継を行っていた。こちらは全国でも多くの市議会インターネットによる映像配信が行われて</p>	

いるところだが、本会議だけではなく委員会での様子も中継しているところであった。委員会では不穏当発言が出るのではないかと懸念もあったようだが、現在のところ発生しておらず、本会議から委員会まで全ての議会の様子は YouTube を通じて発信していた。機材は一般的な Web カメラを使用することで費用を抑え、導入経費から維持費までさほどかからず、システム構築を自前で行っている様子であった。

・市民との意見交換会について

現在、上田市では議会報告会という形式で意見交換会を行っているが、犬山市においても当初は同様の形式で意見交換会を行っていたとのことであった。その後、常任委員会ごとの分科会形式で意見交換会を行い、毎年順調に市民の方に足を運んでもらい、多くの方との意見交換会を実現しているとのことであった。

これらは現在上田市でも同様に議会報告会と平行して常任委員会ごとの意見交換会を行っていることから、今後の在り方について参考にしていきたい部分であった。

また、市民からのパブリックコメントの募集について、従来の方法だけではなく SNS を通じて募集を行うことで多くの方からの意見が寄せられたとのことであった。上田市でも今後この方法を取り入れていく必要があると感じた。

・市民フリースピーチ制度について

意見をお持ちの市民を公募し、議場で述べてもらう制度を行っていた。この制度は非常に特色があり、市民にとって議場で発言する貴重な機会となり、多くの市民が関心を寄せているようであった。一般質問と同様に事前に通告してもらい、行政に対して直接意見を述べるということで、この制度は上田市では見られない方法であることから今後の参考にしたいと感じた。

・オープンドアポリシーについて

議長があらかじめ設定した日時に議長室で市民の意見を聞く時間を設けるといったものであった。こちらも特徴的でこの地域の議長の人柄を表している方法であると感じた。



<p>考 察</p>	<p>上田市では開かれた議会を実現するためこれまでも議会報告会、常任委員会ごとの車座集会など多くの市民との意見交換会をする場を設けてきた。しかし現代では多くの情報を伝達する方法があり議会でも積極的に SNS、インターネットを活用して広報、広聴活動に務めていくべきだと視察を通して感じる事ができた。</p> <p>視察事項にあった SNS を通じて情報発信していくということは上田市でも今年度から始まり、まだ多いわけではないながらも市民の方に関心を寄せていただいているようだ。</p> <p>そして全国的に進んでいる映像配信はできるだけ早く上田市議会でも導入を行っていくべきと感じた。こちらは配信を行うにあたり様々な方法があるため、広報広聴委員会でも検討を続けながら今後の市庁舎改修・改築までには道筋をつけて決定する必要があると思う。</p> <p>議会報告会については、これまで参加者が少なかった会場が見受けられたため、開催方法について今後検討していくとともに、比較的好評と受け止められる常任委員会ごとの車座集会について、今後より強化することで市民との活発な意見交換会ができると思われる。</p> <p>議場での市民参加については、現在では請願・陳情といった形で請願・陳情者の説明を委員会審査の場で行っていただくことはあるが、議場での発言については上田市議会として今後どのように行えるか検討の余地があると思った。</p>
------------	--

視察先の写真、資料等がある場合は添付のこと

平成30年度 委員会行政視察実施報告書

(視察箇所ごとに作成)

委員会名	広報広聴委員会
参加委員	半田大介 成瀬 拓 斉藤達也 中村悠基 林 和明 原 栄一 宮下省二 飯島伴典 金沢広美

委員長、副委員長

1 上田市での課題と視察の目的

上田市では従来方式の議会報告会がマンネリ化しており、今年度は従来方式に加え、市民の皆さんのところへ直接お伺いする「出前報告会」を開催する予定である。茨城県守谷市は平成28年度から「出前懇談会」の実績があることから、開催方法等について視察し、上田市の出前報告会の参考としたい。

2 実施概要

実施日時	視察先	茨城県守谷市
平成30年8月9日(木) 13時30分～15時00分	担当部局	守谷市議会事務局
視察事業名	出前懇談会について	
報告内容	<p>1 視察先の概要 人口 64,753人、面積 35.71 km²。茨城県南部、利根・鬼怒・小貝の3河川に囲まれた台地に位置する。江戸時代は天領。東京都心から約35kmにありながら豊かな自然環境を保ち、常磐自動車道開通やつくばエクスプレス開業により県南の新たな玄関口として発展。</p> <p>2 視察先の特徴 東日本大震災の翌年、平成24年2月の市議会議員選挙において、定数20人に対し34人が立候補。結果、8人の新人が当選。議会不要論の危機感からも、平成24年度から27年度にかけて、松丸議長(現市長) 梅木副議長(現議長)が議会改革を牽引。その間、SNSを活用した情報発信、議会報告会の開催、事業仕分けの実施、議会基本条例の制定、ペーパーレス議会開始(タブレット端末導入) 議会だよりの全面リニューアル等様々な改革を実行した。平成28年度からは出前懇談会を実施している。</p> <p>3 視察事項について ・出前懇談会の目的 市民参加拡充のため、市民の求めに応じ、市民との意見及び情</p>	

報を自由に交換する場として設置

・実施に至る経緯

平成 28 年度守谷市議会運営方針の一つに、「議員の出前のような企画で、より市民と近い距離に立ち、市民の声・要望・意見を聞く」と定め、議会改革推進会議において検討することとなった（梅木議長の提案）。平成 28 年 4 月 19 日検討開始、同年 10 月 1 日出前懇談会実施要項施行。

・内容

市民からの申し出により、議員が地域へ出向き、市民と意見や情報を自由に交換する場。

・開催場所、時間、人数

場所は市民が用意。時間は概ね 2 時間程度で、人数は 5 人以上。

・開催方法

市民からの申込みを受け、議長が開催について議会運営委員会に諮り、決定する。

・出席議員

内容に関係する委員会や地域等を考慮し決定（議長、副議長必須）。

・開催実績

平成 29 年 2 月 10 日 27 人、
2 月 17 日 5 人、
4 月 24 日 15 人、
5 月 26 日 10 人、
11 月 25 日 40 人、
平成 30 年 1 月 31 日 10 人、
2 月 9 日 25 人

・議会報告会の運営面の変更有無

出前懇談会が新設されたことに伴い、議会報告会実施要項の内、出前懇談会と重複する箇所を削除

（守谷市議会報告会実施要項（市民による申出）第 7 条及び 2）

・現状における課題

懇談内容のテーマが多過ぎる

限られた時間の中、テーマが多岐に渡ると、話題を深掘できず、消化不良になってしまうことがある。

参加人数が多過ぎる

参加人数が多過ぎると、一言も発せられない市民がいたり、単なる質疑応答で終わってしまったりと、市民との垣根を取り払い、ざっくばらんに意見交換をするという出前懇談会の本来の目的を果たせなくなってしまう。

今後はテーマを絞り、対話ができる人数で、お互いの考えや思いを率直に話し合える場にしていく。

	
<p>考 察</p>	<p>1 上田市の出前報告会に活かしたい事項</p> <p>(1) 内容 主な報告内容(形式)が決まっている議会報告会とは異なり、市民から事前にテーマや質問を受け、地域に出向き、それについて「ざっくばらんに意見や情報を交換する場」にした方が活発な議論が期待できる。</p> <p>(2) 開催日時 市民側の希望に沿った開催とすることが望ましい。</p> <p>(3) 出席議員 テーマや質問などの内容に関する委員会や、地域等を考慮し決定した方がよい(守谷市は議長、副議長の出席が必須)</p> <p>(4) その他 ・出席議員の発言が「市議会(総意)の発言」とは限らない(議員個人の思いも発言できる)旨を、市民側に説明していること。 ・周知方法として、議会だより、ホームページ以外に、議員個別の声掛けを行うこと。</p> <p>2 出前報告会以外の活かしたい事項</p> <p>(1)「全ては市民のために」の意識を議員全員が持つこと。</p> <p>(2) 議長のリーダーシップで議員の意識改革をはじめとする議会改革は行えること。</p> <p>(3) 常任委員会での年間の重点項目を定めること (視察なども、その目的にあった視察先を選定)</p> <p>(4) 議会だよりのリニューアル(手に取りたくなる、表紙の写真、大きい文字、余白、市民が掲載される、あきる野市を参考にしている等)</p> <p>(参考) 本会議録画映像の配信について 配信時期及び経過 平成 24 年 6 月～議会映像配信業務委託(5年リース) 月額 143,000 円(税抜) 平成 29 年 4 月～議会映像配信業務委託(5年リース) 月額 127,800 円(税抜き)</p>

視察先の写真、資料等がある場合は添付のこと